



【JA 上伊那 様（長野県）】

りんごの着色促進及び葉摘みの省力化として、極早生から晩生種まで推奨。指導に移してから4年目を迎え、以前の使用剤よりも着色が良好に感じる。1回よりも2回と使用回数の多い方が効果が高いとして生産者からも高評価を得ている。



【JA 西都 様（宮崎県）】

ピーマンに使用していますが葉立・色艶が良く着果も多くなります。促成・雨除け・夏秋まで使用推奨。特に、促成栽培では、栽培期間が10か月と長期で最初の1ヶ月で作柄が決まるといわれています。その為、定植後の活着促進として、プロリンの灌水がお勧めです。

産地の声

花芽の充実 生育・収量改善 気候ストレス耐性強化



海藻エキス、魚類エキス、プロリン、メチオニンが主原料 植物・魚由来複合アミノ酸液肥

葉面散布材

ディーエヌエイ DiNA プロリン1号・3号

『DiNA プロリン2号』は2026年12月で販売終了

生育を押し上げたい時に



肥料登録番号：生第 100559 号

保証成分 (%)			主要成分
チッソ	リン酸	カリ	海藻エキス（ケルパック66）に含まれる多様な成分、18種類のアミノ酸（特にプロリン、メチオニン）、核酸
3.0	5.5	1.5	



肥料登録番号：生第 93774 号

保証成分 (%)			主要成分
チッソ	リン酸	カリ	上記1号からメチオニンを抜いた成分
5.5	4.5	1.0	

対象作物：いちご（紅ほっぺ）
実施場所：長野県小布施町 O氏
処 理：平成25年8月のお盆のころから、DiNA プロリン1号 2000倍液を15日おきに葉面散布。
収 穫 日：平成25年11月28日（収穫日が2週間早まった）



使用事例

対象作物：ぶどう（ロザリオピアンコ）
実施場所：山梨県南アルプス市 O氏
処 理：平成25年8月3日 DiNA プロリン1号 1000倍液1回散布。
収 穫 日：平成25年9月7日



左：無処理区（隣接園のもの） 右：処理区

対象作物：りんご（シナノスイート）
実施場所：長野県松本市 K氏
処 理：平成28年8月31日と9月10日の2回、DiNA プロリン1号 1000倍液散布。
調 査 日：平成28年9月23日（花そう葉が立ち、葉摘みの省力化になった。近隣園戸比較しても着色が良い）



処理園

近隣園

対象作物：カンキツ（不知火）
実施場所：熊本県宇土市 F氏
処 理：平成25年9月から11月の期間に、DiNA プロリン1号 2000倍液を4回葉面散布。
調 査 日：平成25年12月11日（3L、4L玉中心になった）



海藻エキス、グルタミン酸液、プロリン、メチオニンが主原料 植物由来アミノ酸液肥

ディーエヌエイ DiNA プロリンV

姉妹品新発売

葉面散布材

肥料登録番号：生第 109534 号

保証成分 (%)			主要成分
チッソ	リン酸	カリ	海藻エキス（ケルパック66）に含まれる多様な成分、18種類のアミノ酸（特にグルタミン酸、プロリン、メチオニン）、核酸
3.0	5.5	2.0	

低臭で流動性が良い



共通原料とその効能

- 海藻エキス「ケルパック66」** 原料海藻（褐藻類）の「エクロニア・マキシマ」には、アミノ酸、ミネラル、ビタミン、多糖類、植物ホルモンなど66種類にも及び成分が含まれており、植物ホルモンの中でも特にオーキシン様物質が多いことが知られています。それらの複合作用で生育が旺盛・健全になり、根量が増え光合成能が高まります。また、本海藻に含まれるポリフェノールの一種「フロロタンニン」が高温等のストレス耐性を増し、「ポリアミン」が花粉管の伸長などにプラスに働くことが期待できます。さらに、この海藻中の成分をできるだけ損なわずに取り出すため、熱や化学物質を使用することなく、低温下で圧力差を利用してエキスを抽出する特許製法「コールド・セルバースト方式」を採用することで原料の持つ効果・効能と相俟って唯一無二の海藻バイオスティミュラントとなっています。（有機JAS規格別表1に適合した資材）

ディーエヌエイ DiNA プロリン1号・3号

- 原料とその効能** **フィッシュソリュブル（魚類エキス）** 窒素源としての役割に加え、海藻エキスとともに核酸を供給します。これらの核酸とプロリン、メチオニンの相乗作用により、プロリン、メチオニンの効果・効能がより高まることが期待出来ます。フィッシュソリュブルは、魚由来（動物性）なため、植物性原料にはない、生長押し上げ効果が期待できます。

使用方法 旺盛・健全な生育を通して、副次的に下記のような効果が期待できます。

対象作物	使用時期	期待される効果	使用製品	希釈倍率（処理量）	使用方法
りんご さくらんぼ・桃・梨 栗・柿・栗 ブルーベリー等 落葉果樹全般	萌芽期～開花直前	健全な花芽づくり 生育・収量改善	DiNA プロリン1号	1000～2000倍	2～3回 葉面散布
	開花直後と結実期	着色改善、 糖度・旨味アップ	DiNA プロリン1号	1000～2000倍	2回 葉面散布
	幼果期～収穫1か月前 [※]		DiNA プロリン1号	1000～2000倍	2～4週間おき 葉面散布
	収穫後～落葉まで	貯蔵養分蓄積	DiNA プロリン1号	1000～2000倍	2～3回 葉面散布
中晩柑橘	収穫後～5月	健全な花芽づくり 耐寒性改善、落葉防止 貯蔵養分蓄積	DiNA プロリン3号	1000～2000倍	月1回程度 葉面散布
	6月～10月	果実肥大、収量改善 糖度・旨味アップ	DiNA プロリン1号	1000～2000倍	月1回程度 葉面散布
温州ミカン	収穫後～5月	健全な花芽づくり 耐寒性改善、落葉防止 貯蔵養分蓄積	DiNA プロリン3号	1000～2000倍	月1回程度 葉面散布
	6月	果実肥大、成熟サポート	DiNA プロリン1号	1000～2000倍	月1回 葉面散布
ぶどう ^{※※}	展葉期～開花期	花芽充実・健全な根の発育		1000～2000倍	2～3回 葉面散布
	幼果期～収穫1か月前	細胞分裂・肥大化	DiNA プロリン1号	1000～2000倍	2～3回 葉面散布
	収穫後～落葉まで	貯蔵養分蓄積		1000～2000倍	2～3回 葉面散布
果菜類・花卉類	生育初期～収穫期間	健全な花芽づくり 生育・収量改善		1000～2000倍	2～3週間おき 葉面散布
豆類	5葉期～開花始期と 着莢後	着色改善 糖度・旨味アップ	DiNA プロリン1号	1000倍	2回葉面散布

- ※収穫前の最終散布時期は作物によって異なります。適宜調節してください。
- ※りんご：収穫直前期に、緊急的に着色させたい場合は、ただちに、1000倍を散布してください。
- ※※ぶどう：ジベレリン処理の前後5日間程度の処理はお控えください。

1号	3号
1000倍液 pH 5.51 2000倍液 pH 6.4	1000倍液 pH 7.6 2000倍液 pH 7.7

注意事項

- 肥料・農薬との混合可否：ほとんどの肥料・農薬と混合可です。ただし、肥料や農薬自体が葉害が出やすいものは、混用をお控えください。
- 「石灰硫黄合剤」と混合すると、有害ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用は行わないでください。
- 沈殿物が無くなるまでよく振ってからご使用ください。（逆さにして振ると、沈殿物がなじみやすいです。沈殿物が拡散しても透明にはなりません、希釈するときれいに溶けますので、ご安心ください。）
- 『プロリン1号』と『プロリンV』はボルドー液との混用散布は、葉害が出る恐れがあるのでお控えください。ボルドー散布園に散布する場合は、葉害回避のため、必ず炭酸カルシウム（石灰）を希釈液100Lにつき1握り～2握り（50～100g）加用してください。
- 『プロリン1号』と『プロリン3号』には動物由来たんぱく質が入っていますから、家畜等の口に入らないところで保管・使用してください。

- プロリン** 花粉に多く含まれるアミノ酸で、花粉の形成、受粉、着果、果実肥大などに深く関与しストレス耐性や甘み、旨みの向上にも関与する重要成分といわれています。特に高温ストレス下で抗ストレス物質として働き、酵素の保護や細胞内の水分保持を助け、受粉率や収量向上につながるとされています。
- メチオニン** 単なる窒素源ではなく、エチレン生成の前駆体であり、ポリアミンや抗酸化物質合成に関与するなど、代謝の中核に関わるアミノ酸です。

ディーエヌエイ DiNA プロリンV

- 原料とその効能** **グルタミン酸液** 気候ストレス軽減に有効といわれており、耐暑性が高まり、糖度アップ、旨み向上に期待が出来ます。また、グルタミン酸液の「核酸」との相乗効果でプロリン、メチオニンの効果がさらに強化されます。グルタミン酸液は、植物由来のアミノ酸であるため低臭で、流動性も良いのが特長です。

使用方法 旺盛・健全な生育を通して、副次的に下記のような効果が期待できます。

対象作物	使用時期	期待される効果	希釈倍率（処理量）	使用方法
りんご さくらんぼ・桃・梨 栗・柿・栗 ブルーベリー等 落葉果樹全般	萌芽期～開花直前	健全な花芽づくり 生育・収量改善	1000～2000倍	2～3回 葉面散布
	開花直後と結実期	着色改善 糖度・旨味アップ	1000～2000倍	2回 葉面散布
	幼果期～収穫1か月前 [※]		1000～2000倍	2～4週間おき 葉面散布
	収穫後～落葉まで	貯蔵養分蓄積	1000～2000倍	2～3回 葉面散布
柑橘類	収穫後～幼果期	健全な花芽づくり 生育改善・収量改善	1000～2000倍	月1回程度 葉面散布
ぶどう ^{※※}	展葉期～開花期	花芽充実・健全な根の発育	1000～2000倍	2～3回 葉面散布
	幼果期～収穫1か月前	細胞分裂・肥大化	1000～2000倍	2～3回 葉面散布
	収穫後～落葉まで	貯蔵養分蓄積	1000～2000倍	2～3回 葉面散布
果菜類・花卉類	生育初期～収穫期間	健全な花芽づくり 生育・収量改善	1000～2000倍	2～3週間おき 葉面散布
いちご		着色改善 糖度・旨味アップ		
豆類	5葉期～開花始期と 着莢後		1000倍	2回葉面散布

- ※収穫前の最終散布時期は作物によって異なります。適宜調節してください。
- ※りんご：収穫直前期に、緊急的に着色させたい場合は、ただちに、1000倍を散布してください。
- ※※ぶどう：ジベレリン処理の前後5日間程度の処理はお控えください。

1000倍液 pH 6.4 2000倍液 pH 7.0

包装規格

- DiNA プロリン1号：1ℓ×15本/ケース、5ℓエースター×4本/ケース、20ℓエースター入り。
- DiNA プロリン3号：1ℓ×15本/ケース、5ℓエースター×4本/ケース。
- DiNA プロリンV：1ℓ×15本/ケース、5ℓエースター×4本/ケース。